

事故調査・検証委員会の中間報告について (知事コメント)

本日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会から中間報告が公表された。

- 1 中間報告書は、事故発生後の政府等の対応の問題点、避難対策、規制機関のあり方、など大きく3点について取り扱っている。
- 2 今回の政府における事故対応については、政府の不手際や避難対策における問題点などについて指摘している。
- 3 避難対策については、交通手段の確保、遠隔地における避難場所の確保、避難先での水食糧の確保、及び医療機関、老人ホーム等における要支援者の避難対策について指摘している。
これらについては、県としても重要な課題と認識しており、すでに準備を進めているところである。国においても積極的に対応していただきたい。
- 4 原発の安全性を考える際に重要な点である事故原因については説明が余り進んでいないようである。
さらに調査を行って、原因究明し、それに基づいた安全対策を講じることが必要である。
- 5 シビアアクシデント対策については、東京電力と政府の対応の不十分さが指摘されている。
国及び電力会社は、今後、どのような対応をとっていくのかを説明していくことが必要である。
- 6 今後、報告書をよく分析し、県として必要な対策を検討していくとともに、政府と電力会社に対して、安全対策や避難対策を強化するよう求めていく。